

三宅政務官訪沖



鬼塚北大東村長等との面談の様子

三宅防衛大臣政務官が、令和6(2024)年7月22日から23日までの日程で北大東村を訪問し、鬼塚北大東村長並びに村議会議員の皆様と面談しました。

三宅防衛大臣政務官から日頃より防衛省・自衛隊に対してご理解とご協力をいただいていることについてお礼を申し上げ、その上で、北大東島への航空自衛隊の移動式警戒管制レーダー等の配備の意向につき、あらためて説明を行いました。

鬼塚村長からは、同年7月16日に開催された住民説明会において、防衛省から丁寧な説明がなされ、村民の間でも、移動式レーダー配備に関する理解が進んだと考えており、昨今の我が国を取りまく安全保障環境や配備の国防上の意義を伺ったことを踏まえ、村として、配備を受け入れる旨、表明をいただきました。

防衛省としては、現在、太平洋側の警戒監視態勢の強化が喫緊の課題となっている中、北大東島に移動式警戒管制レーダー等を配備することは我が国の防衛にとって大きな意義があることと考えており、引き続き地元への丁寧な説明に努めつつ、北大東村と緊密に連携しながら、部隊の配備を進めてまいります。

目次

CONTENTS

◆ 普天間飛行場代替施設建設事業について ……	2	◆ 辺野古区ハーレー大会 ……	6
◆ 令和7(2025)年度概算要求における沖縄関係経費 …	3	◆ 辺野古大綱引きについて ……	6
◆ 名護市汀間漁港製氷冷蔵施設落成式典 ……	4	◆ 米空軍隊員のボランティア活動について ……	7
◆ 幹部職員紹介 ……	5	◆ 地位協定第18条による損害賠償について ……	7
◆ 豊原区アブシバレー・ハーレー大会 ……	5	◆ 在日米軍従業員募集 ……	8

普天間飛行場代替施設建設事業について

キャンプ・シュワブにおける普天間飛行場代替施設建設事業につきましては、平成29(2017)年11月から辺野古側の護岸工事に、平成30(2018)年12月には埋立工事にそれぞれ着手し、辺野古側の埋立地については、令和6(2024)年8月末時点で、必要な土量の99.5%まで埋立工事が進捗しています。

また、令和5(2023)年12月に埋立変更承認申請の承認を得たことから、令和6(2024)年1月には、大浦湾側の工事に着手しており、2月からは、埋立区域③-1の護岸工事を実施しているところです。

さらに、令和6(2024)年8月、新たにA護岸、N-1護岸及びN-2護岸の工事に着手しています。

普天間飛行場の移設をめぐる問題の原点は、市街地に位置し、住宅や学校で囲まれ、世界で最も危険と言われる普天間飛行場の危険性を一日も早く除去することです。

当局としましては、普天間飛行場の一日も早い全面返還を実現し、そして、基地負担の軽減を図るため、引き続き、作業の安全に十分留意した上で、関係法令に基づき、自然環境や周辺住民の方々の生活環境にも十分配慮しながら、移設に向けた工事を着実に進めてまいります。



A護岸工事状況



N-1護岸工事状況

令和7(2025)年度概算要求における沖縄関係経費

(単位: 億円、%)

事 項	令和6 (2024)年度 予 算 額	令和7 (2025)年度 概算要求額	対前年度 増△減額	対前年度 伸 率
1. 基地周辺対策経費	< 311 > 317	< 362 > 331	< 51 > 14	< 16.4 > 4.4
住宅防音	< 131 > 131	< 132 > 133	< 1 > 2	< 0.9 > 1.8
周辺環境整備	< 180 > 186	< 230 > 198	< 50 > 12	< 27.7 > 6.3
2. 補償経費等	< 1,110 > 1,110	< 1,130 > 1,114	< 20 > 3	< 1.8 > 0.3
(1)施設の借料	1,084	1,085	1	0.1
土地等の借料	1,062	1,073	12	1.1
その他(道路使用等)	22	11	△ 10	△ 48.2
(2)漁業補償	12	12	0	2.3
(3)その他の補償等	< 14 > 15	< 33 > 17	< 19 > 2	< 2.3倍 > 14.3
3. 基地従業員関係	477	542	65	13.7
4. 提供施設の整備	< 105 > 125	< 51 > 105	< △ 55 > △ 20	< △ 52.0 > △ 16.1
合 計	< 2,002 > 2,028	< 2,084 > 2,091	< 82 > 63	< 4.1 > 3.1

注: 1 上段< >内は、契約ベースである。

2 計数は、四捨五入によっているので符合しないことがある。

名護市汀間漁港製氷冷蔵施設落成式典

令和6(2024)年7月26日、汀間漁港製氷冷蔵施設の落成式が行われ、関係者の方々が出席し施設の完成を祝いました。

本施設は、漁船の大型化及び漁船の増加に対応し、出漁機会を増やすことにより、漁業経営の安定化を図ることを目的とし、名護市が当省の防衛施設周辺整備助成事業及び再編交付金事業を活用して整備したものです。

当局といたしましては、地域住民の皆様方の生活と防衛施設との調和を図ることが何よりも重要であると認識しており、今後とも防衛施設周辺の皆様方の生活の安定及び福祉の向上に寄与するための各種施策の実施に取り組んでまいります。



記念撮影（左から宮城名護市議会副議長、渡具知名護市長、伊藤沖縄防衛局長、仲間名護漁業協同組合汀間支部長、安里名護漁業協同組合代表理事組合長）



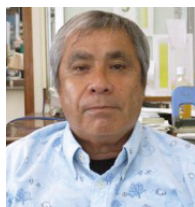
施設外観



貯氷庫



製氷室



名護漁業協同組合
組合代表理事組合長 **安里 政利**

汀間支部の組合員は約40名に対し、既存施設では、1日に4隻ほどしか出漁準備ができず、次の氷が出来上がるまで3日～4日程度、待機する必要があり、出漁を見合わせるなど、漁業活動に支障をきたしておりました。

しかし、新たに整備された冷凍施設での餌の保管、荷捌き施設での水揚げ作業の効率化、新たな製氷施設と既存施設により製氷能力15t、貯氷45tの氷が確保することができたことは、円滑な漁業活動の実施、更なる水揚げの増加が期待され、水産業の益々の発展を感じております。



名護市長 **渡具知 武豊**

本製氷施設整備は、漁業関係者の熱意のもと、防衛施設周辺民生安定施設整備事業及び再編交付金事業として採択され、沖縄防衛局の格別なるご尽力によりこの度の落成の運びとなりました。

本市では、漁業者の皆様が計画的に出漁できるよう、令和4(2022)年12月より本施設の整備に着手し、本年7月をもって無事完成を見届けることができ、本施設の完成を心待ちにしてこられた名護漁業協同組合及び組合員の皆様と共に喜んでいただいております。

本施設の本格稼働により、今以上の水揚になるものと大きな期待を寄せております。

幹部職員紹介



防衛補佐官 ^{もり こうじ}
森 孝二

6月8日付けで防衛補佐官を拝命しました森です。沖縄での勤務は航空自衛隊那覇基地以来、約12年ぶりで防衛局勤務は初めてとなります。防衛補佐官の役割は、各種業務の企画及び立案に参画するとともに部隊運用の見地から助言を行うことです。これまでの経験を活用し、その役割を果たせるよう取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



管理部長 ^{まつ しま ふみ と}
松島 史人

8月1日付けで管理部長を拝命しました松島です。沖縄防衛局での勤務、また、沖縄での生活にあたり、まだまだ不慣れなこともあり、ご迷惑をお掛けすることもあるかと存じますが、これまでの経験などを踏まえつつ、健康に気をつけながら地元の皆様方との交流を深め、前向きに取り組んで参りたいと思いますので、どうかよろしくお願いいたします。



調達部次長 ^{かい もり けん}
貝 守 健

7月1日付けで調達部次長を拝命しました貝守です。調達部は沖縄県内に所在する自衛隊及び在日米軍の活動期基盤となる防衛施設の整備を調査・設計から建設工事まで一貫して実施しています。沖縄防衛局は2年ぶり2度目の勤務になりますが、沖縄の皆様のお考えをしっかりお聞きしながら、防衛施設の整備に取り組んでまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



調達部次長 ^{はや かわ ゆう すけ}
早川 佑介

7月1日付けで調達部次長を拝命しました早川です。私は国土交通省の出身で、防衛省での勤務、また沖縄での勤務は今回が初めてとなりますが、青い海、緑豊かな山々など、素晴らしい環境のもとで業務ができることを大変嬉しく思っております。沖縄防衛局では、自衛隊及び在日米軍の施設整備など、多くの重要な事業を進めています。自身の経験を活かしながら、地元沖縄の皆様方のご意見にもしっかり耳を傾け、職員一丸となって業務に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

豊原区アブシバレー・ハーレー大会

令和6(2024)年7月14日、晴天の下、豊原クンジダー浜で「豊原区アブシバレー・ハーレー大会」が開催され、当局は沖縄防衛局企画部チームとして参加しました。

当日は天気にも恵まれ、参加チームの漕ぎ手の掛け声、応援に駆け付けた多くの観客の声援により、ハーレー大会は大いに盛り上がりました。

当局職員が参加した職域レースでは、残念ながら結果は振るわないものとなりましたが、レース後には参加者全員に区から豚汁が振る舞われ、消耗した体力を回復することができました。豊原区民の皆様にとって大切な行事に参加することができ、親睦を深める良い機会となりました。



沖縄防衛局企画部チーム



青い空、青い海を滑走するハーレー船

辺野古区ハーレー大会

令和6(2024)年6月30日、快晴の下、辺野古松田ヌ浜で「辺野古区ハーレー大会」が開催され、当局からは沖縄防衛局企画部チーム及び名護防衛事務所チームが参加しました。

また、辺野古区11班である、キャンプ・シュワブからも多数の海兵隊員が参加し、ハーレー大会を大いに盛り上げました。

この辺野古区ハーレー大会は五穀豊穡を祈願するアブシバレー行事の一環で、区民の皆様にとって大切な行事です。

当局職員が参加した職域レースでは、結果は伴わないものとなりましたが、ハーレー大会を通じて辺野古区民の皆様と交流を行い親睦を深めることができました。



沖縄防衛局企画部チーム



名護防衛事務所チーム

辺野古大綱引きについて

令和6(2024)年8月25日、辺野古区多目的運動広場で「辺野古大綱引き」が開催されました。

当日は、辺野古区11班であるキャンプ・シュワブからも、多数の海兵隊員とその家族が参加し、全長80メートルとなる大綱を区民と共に引き合い綱引きを楽しみました。

この辺野古区大綱引きは、稲の収穫と次年の豊穡を祈願する豊年祭として3年に1度行われる行事ですが、新型コロナウイルスの影響があり6年ぶりの開催となりました。

辺野古区の歴史によると、昭和54(1979)年から綱の規模を大きくし、開催の度に区民総出で全長80メートルの大綱を作っています。

綱引きの前には、大きな旗を抱えて演舞する「旗頭ガーエー」、多くの青年たちが松明を持って会場を駆け回り邪気を払う「テービーガーエー」で伝統ある行事の雰囲気を一層高めました。



写真提供 名護市

白熱する大綱引き



旗頭ガーエー

米空軍隊員のボランティア活動について

令和6（2024）年4月、嘉手納飛行場内に所在する拝所「森根ビュジュル」の所有者である森根郷友会から、米空軍第18航空団に対して、昨年の台風により拝所に大木が倒れ、旧暦の9月9日に御願ができない状態にあるとの相談があったところ、本年6月、ボランティアで集まった嘉手納飛行場所属の米空軍隊員8名が、神聖な霊石の拝所に敬意を払いつつ、倒木の撤去及び清掃を実施しました。

嘉手納飛行場の比嘉渉外官によると、隊員達は地元の方々からの相談と聞き、沖縄の文化に触れ地域活動に貢献するために、職場の仲間を集め1日かけて作業に取り組んだそうです。

森根郷友会の我謝会長からは「米空軍隊員の皆様により、拝所が見違えるほど綺麗になりました。ボランティアで行ったと伺い、大変ありがたく思っています。」と御礼の言葉を述べられ、御願ができることに感謝していました。

（米空軍より一部写真提供）



拝所に覆い被さった倒木



倒木を撤去する隊員



拝所を清掃する隊員



拝所を清掃する隊員



倒木を撤去し綺麗になった拝所



隊員に感謝する森根郷友会

地位協定第18条による損害賠償について

当局では、日米地位協定に基づき、合衆国軍隊等の行為等により、当局管内で事故や事件で被害を受けた方々への損害賠償業務を行っております。

- 米軍等の行為が**公務執行中**の場合（日米地位協定第18条5項）
 - ・被害を受けた損害額を**日本国政府**が支払います。
 - ・損害賠償金を請求できる期間は、事故が発生したときから**3年間（人身被害については5年間）**です。
- 米軍等の行為が**公務執行外**の場合（日米地位協定第18条6項）
 - ・原則として、日本人同士の一般的な交通事故での保険解決のように、直接、加害者との間で（※）示談解決することになりますが、**示談による解決が困難な場合**には、加害者に代わって合衆国政府が補償金の額を決定して支払います。
 - ・補償金を請求できる期間は、事故が発生したときから**2年間**です。

※米軍人・軍属が運転する私有車両（Yナンバー等）との交通事故の場合は、相手が加入している任意自動車保険の保険会社名・保険番号などを確認して、まずは、相手方の保険会社等へお問い合わせください。

**被害を受けた方は、
事故等発生後、お早めに
右記の担当部署までご連絡ください**

沖縄防衛局 管理部 業務課 事故補償係
電話：098-921-8131 内線 412～415
住所：沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納 290 番地 9

在日米軍従業員募集



【沖縄基地の事前募集】

沖縄県在住の方が沖縄の米軍基地を応募する際には
事前の登録が必要です。
興味がある方は、ぜひ、登録をお願いします。

【X (旧 Twitter)】

求人情報等の募集関連情報を定期的に発信しています。
ぜひ、フォローをお願いします。

アカウント名

「在日米軍従業員求人情報 (エルモ) @LMO_recruit」

■窓口応募受付・お問合せ

LMO 独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構【エルモ】

沖縄支部 〒904-0202 沖縄県中頭郡嘉手納町字屋良 1058-1 TEL 098-921-5532

沖縄基地の事前募集



X (旧 Twitter)

